



議会だより

No. **27**

2005. 10月



秋本番トップを切って印南祭り

9月定例議会

P2～P3……………新しい議会体制スタート

P4～P5…9月定例議会議案審議内容

P6～P9……………一般質問（4議員）

P10……………公民館めぐり・あとなぎ

印南町議会初議会

新しい議会体制決まる

8月の印南町議会一般選挙で、14名の新選良が決まり、去る9月6日に初議会が開会されました。

初議会では正副議長をはじめ、各常任委員会や議会運営委員会等の議会構成が決定しました。

14代目議長に森下弘氏、副議長には谷井長平氏がそれぞれ決まり、正副議長のもと、各常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の委員や一部事務組合議員の指名が行われ、新しい議会体制がスタートしました。



議長 森下 弘

ごあいさつ

議長 森下 弘

9月6日開会の初議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、印南町議会の議長に就任することになりました。誠に身にあまる光栄であるとともに、自らの浅学非才を省みて、その責任の重さを深く感じておるところでございます。

バブル崩壊以後、長引く景気低迷の中で、三位一体を軸とした地方分権がクローズアップされ、私たち印南町をとりまく環境は非常に厳しく、まだまだ多くの問題が山積している中で町の議会の責務はますます重いものと感じます。

こうした時期にあって、選良である議員の皆様方のご推挙を受けました上は、印南町の発展と議会の円滑なる運営に懸命の努力をいたしまして、町民の皆様方の期待にお応えしていきたいと思っております。

これからも、各議員をはじめ、町執行部のご指導、ご協力のもとに、町民の負託に応える町議会を全力で創り上げていく所存ですので、町民の皆様方の深いご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のあいさつといたします。

一部事務組合議会議員

御坊広域行政事務組合

榎本 敏夫

日高広域消防事務組合

道 修一

御坊市外五ヶ町病院経営事務組合

清水 宏一

御坊日高老人福祉施設事務組合

前田 芳孝

議会運営委員会

議長の諮問に応じ、諸々の問題を協議したりする委員会であり、
例えば、次の議会はいつ、どれくらいの期間で、また議案の取扱いや特別委員会の設置のことや会議規則、委員会条例、議会関係の諸規定の制定、撤廃など、議会の進行、企画の役割を果たします。

議会運営委員会委員の紹介

委員長

榎本 敏夫

副委員長

前山 立美

委員

清水 宏一

廣野 英幸
鈴木 紀博



各常任委員会構成紹介

常任委員会は、議会内部における下審査（調査）機関であり、執行部各課の行政に対し、より深い見識を高めたり、専門分野に分かれ調査研究することを目的とします。

総務文教常任委員会



企画・総務及び文教に関する事務ならびに他の委員会の所管に属しない事務。

総務文教常任委員会委員の紹介
 委員長 道 修一
 副委員長 前田 芳孝
 委員 榎本 一平
 西山 徹
 谷井 長平

厚生常任委員会



厚生及び生活環境に関する事務。

厚生常任委員会委員の紹介
 委員長 清水 宏一
 副委員長 畑中 晴生
 委員 堀口 敏夫
 榎本 敏夫
 森下 弘

産業建設常任委員会



産業経済・土木建設に関する事務。

産業建設常任委員会委員の紹介
 委員長 藤本 良昭
 副委員長 廣野 英幸
 委員 前山 立美
 鈴木 紀博

平成17年

9月定例議会議案審議

平成17年第3回印南町議会定例会は、9月13日開会し、20日に閉会いたしました。今回の定例会は、町長選、議員一般選挙後初めての定例会でもありました。上程案件は選任1件(監査委員)、任命2件(教育委員)、条例改正3件、規約の変更3件、損害賠償2件、字の区域変更1件、町道関係1件、17年度補正予算4件の計17件が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。

議案審議

監査委員の選任について(任期4年)

任期満了に伴い次の方が選任されました。
議会議員
鈴木 紀博 氏(再任)

教育委員会委員の任命について(任期4年)

教育委員会委員の任期に伴い次の方々が任命されました。

森尾 正稔 氏(再任)
塩路 宗平 氏(再任)

こんな問答がありました

消防団条例の一部改正

消防団員の任命に関して、町消防団条例の第3条第1号の中で「本町に居住する」を



消防団出初式

「本町に居住又は勤務する」に改める。

Q この「本町に居住又は勤務する」と書いていますが、これは町の公務員も含まれているのですか。

A 採用においては職業の区分はございません。

損害賠償額の決定

職員の公務中における交通事故に伴う損害賠償の額を可決。

Q 事故の発生状況等について具体的にどのような状況であったかの説明を求めます。

A 当日は日曜日の夕方4時ごろに発生していますが、田辺市で開催された半島振興にかかるシンポジウムに参加しての帰りで、前方不注意による追突事故でした。

後遺症等が発生した場合でも、相手方が一切請求しないという内容になっています。

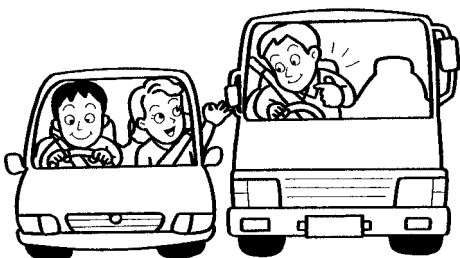
なお、運転していた職員には、事故報告期末書を提出させ、同時に職場内での交通安全を励行してまいります。

損害賠償額の決定

道路の瑕疵による自動車損傷に伴う損害賠償の額を可決。

Q 町道のグレーチングによる今回の事故を教訓にして、町内にそのようなグレーチングによる危険なところはないか点検はされたのか。

A 一級町道、二級町道、その他町道を見まして一ヶ所ございましたけれども補修を行っていません。現在、それ以外、整備するところはございませんでした。



平成17年度補正予算審議

一般会計補正予算 6,793万6千円を追加

17年度総予算額 **44億2,746万4千円**

3特別会計補正予算 1億722万8千円を追加

17年度総予算額 **19億1,027万8千円**

一般会計

平成17年度印南町一般会計補正予算(第3号)は歳入歳出予算総額にそれぞれ6793万6千円を追加し、総額は44億2746万4千円となります。

歳入で主な増額は、国庫補助金で1千万円、財産売却収入で709万9千円、繰越金で4千万円です。

また、歳出で主な増額は、民生費で1141万7千円、衛生費で2702万8千円、農林水産費で2292万3千円です。

海拔表示は この秋を予定

Q 海拔表示について、関電との話し合いをもちかたれていると言われていますが、この海拔表示は、いつごろ設置されるのか。

A 海拔表示の設置時期ですが、この秋を予定しています。関係する区長さん方にお集まりいただく機会もございまして、その席でご案内申し上げてまいりたいと考えています。

避難灯設置について

Q 防災諸費のところ、避難灯の設置委託料が計上されているが、これに併せて避難経路表示板というのは設置しないのかどうか。より安全性が高まると思いますが。

A 表示については、計画としてはもっていません。

ただ、避難が夜間になった場合、非常に路地が多い中で、混乱するのではないかと、このことから避難の目印となるようなものとして埋め込み式による太陽光を電源とした点滅灯の設置を今年度から計画に入れていきます。



避難灯を設置

国民健康保険 事業特別会計

平成17年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)は歳入歳出予算総額に、それぞれ5289万1千円を追加し、12億5786万3千円となりました。

介護保険事業特別会計

平成17年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)は歳入歳出予算総額に、それぞれ5460万7千円を追加し、6億4068万5千円とする。

Q 介護保険法が見直しされ、要支援1、2の人は新予防給付ということで、筋肉トレーニングを中心に行っていくように変わったと思うが、印南町では単独で、この事業をやっているのか。

A この筋肉トレーニング等については体制の整理ということで、まだ、その整理については具体化していません。

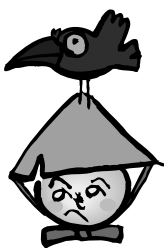
町の方角としては独自で行っているつもりです。

指導主事共同設置 事業特別会計

平成17年度美浜町、日高町、由良町及び印南町指導主事共同設置事業特別会計補正予算(第1号)は歳入歳出予算の総額から、それぞれ27万円を減額し、1173万円とする。



町内の学校授業風景





榎本敏夫 議員

町民から うかがった声からおたずねします

久保井町政二期8年間のためゆまぬご努力が選挙で町民のご信任をいただき、第三期へ具体的ステップを踏み出す瞬間を迎えました。町民からうかがった次の3点についておたずねいたします。

印南サービスエリアのオープンはいかがが

質問 日高地方只一つの高速道路客への特産物販売所となるサービスエリアのオープンは。

答弁II企画課長

町村会が事務局となり、御坊市を含む1市6町および3JA、御坊商工会議所と6商工会で4千万円の出資をいただき、去る7月20日創立総会を開き、7月29日に株式会社設立登記も完了しています。社名は日高観光物産センター株式会社です。今後、県も1千万円の補助金を出します。

業務施設等は吉備PAの紀州有田方式（平成11年4月オープン）を進めています。事業費も7千万



物産センター創業が待たれるSA

円を予定し、今後会社の取締役員会等で、決定します。民営化に向け改革の公団のSA、PA事業グループとしての協議の窓口が開設され、近く事業グループとの協議となります。創業は少し遅くなる見込みです。

再質問 地元特産コーナー等販売品の範囲とオープン時期の予定は大体いかがでしょうか。

答弁II企画課長

第1回の事業計画書は8月18日に公団に渡しましたが、近日回答と思えますが、オープン時期はまだわかりません。

今後の雇用就労対策とパートや内職の斡旋等は

質問 企業誘致にご努力いただいておりますが、今後のご抱負と若い主婦の希望するパートや内職のあつせん等いかがか。

答弁II企画課長

県と連携を密に各種制度も考え努力し、町長の町内企業訪問も行っております。また、

内職やパートについては、ハローワークのご協力をいただき、社教センターでは第3金曜日、みずほ会館では第3木曜日に相談事業を開き午後1時から2時間開設していますので、ご希望の方は相談に行ってくださいと思っております。

世の不況下町内企業の現況は

質問 世の不況下更に原油高騰で、経営も大変と思えますが、現況はいかがでしょうか。

答弁II企画課長

3年に1度事業所企業所統計を行い、第1次産業を除く商工業、製造業、サービス業に従事の事業を対象の昨年度調査で、町内企業は351社です。従業員50人以上は5社で、20人〜50人までは11社で、町内企業はほとんどが20人以下の小規模企業です。

協力体制は、半島振興法による制度や電源や過疎地域等企業地域促進事業で補助金もございます。また、県でも企業立地促進奨励金制度もあり

ます。今後も町内企業と連携を図りながら取り組んでいきたいと思えます。



町内企業のより発展を・・・



畑中豊 議員

まちづくり政策・施策について

久保井町政の基本政策、施策について

質問 当町は3人に1人がお年寄りの町になっていますが、まず現町政の基本理念、政策についてお伺いします。

答弁 町長

今回の選挙に当たって、いろいろと皆さんとお話をしてきたところですが、平和と民主主義、基本的人権を重んじるとともに、公平民主主義な政治、自治と連携、連帯の社会を基本として、「将来に責任のもてる「みんなですすめるまちづくり」を政治信条、基本理念としてやっております。

- ①健康で安心して暮らせるまちづくり
- ②安全で快適な生活環境づくり
- ③豊かな人間性を育むまちづくり
- ④豊かで活力あるまちづくり
- ⑤総合的、計画的な行政をめざして、の五つを私の政治信条、政策として推進してまいります。

人権行政の現状及び今後について

質問 隣保館事業等人権行政の現状及び今後のあり方についてお伺いします。

答弁 町長

人権行政については、現在、教育委員会で人権教育、啓発活動に取り組んでいる状況があります。

隣保館2館については、これまでも貸し館を主体にするかどうかな等を検討してきているが、結論に至っていない。いま、私が三期目の町政を担当させてもらった機会に、平成18年度に向けて、何とか今後の運営等のあり方を考えてみたいと思っています。



切目社会教育センター

子育て支援策について

質問 子育て支援策について、児童手当の支給や子育てサークルの育成、指導以外にどのような施策があるのか。

答弁 住民課長

少子化対策として、児童扶養手当、一人親家庭医療、乳幼児医療等々あるが、今年、次世代育成支援行動計画を策定しており、今後はその行動計画に沿って支援を進めていきたい。

再質問 その行動計画の中に行政等の役割があり、住民に最も身近な支援機能を持つ施設の中に隣保館をどうして入れないのか。もっと隣保館を福祉行政の中に位置づけて活用したらどうか。

答弁 住民課長

この行動計画の中に隣保館は入っていませんが、住民に身近な施設として、今後、活用場として考えていきたい。

第4次長期計画の見直しについて

質問 長期計画は今後の町の活性化に視点を置いた将来像を描いているものですが、構想では平成22年における本町の将来人口を1万人に設定しています。これは5年前の人口1万人を維持するという考えであるが、現実には9800人を割ってしまっている状況にある。

今回、基本計画の見直しで、人口増対策として見直す必要があるのではないか。

答弁 企画課長

人口増といいますが、現在

の状況では非常にむずかしいことがございますので、高速のSAのように、いろんな観光とかいうことで交流人口の促進というところもあります。が、基本計画は基本構想に基づいておりまして、やはり1万人を目標にしていきたいことをご理解いただきたい。交流人口を増やしていくということと政策を組んでいけたらと思っています。



西山徹 議員

印南町の主産業、農業の活性化 ～遊休農地の防止と利活用は～

質問 印南町は農業が主たる産業として発展してきました。しかしながら現在の農業をとりまく環境は厳しいものがあります。印南町全域の農業に言えることとありますが、特に中山間・山間部については遊休農地・荒廃農地が増加し、その多くは活用されていない状況です。こうした事による地域農業の衰退が、地域の活性化までもなくしているように感じます。

地域の主産業である農業の活性化こそが地域の活性化の源であり、町の活性化の源でないかと考えます。地域ぐるみでの遊休農地の防止と有効活用の促進についてお伺いしたい。

答弁 産業課長
農業経営基盤強化促進法のもと、農地保有合理化事業に取り組んでいる。

この制度は税制面でも優遇され、800万円の特別控除が認められます。

また、中山間地域直接支払制度に対応しており、集落営農活動、農業生産活動、遊休農地の防止策等に役立っていると考えます。

**農業法人化の
取り組みはあるか！**

再質問 こうした取り組みは個人では難しいと思いますが、農業法人等の法人化の取り組みという動きが出た場合、行政として指導していただけるのか、また、法人化を推進する考えはないか。

答弁 産業課長
希望があれば申し出てもらいたい。個人や団体の意見が尊重されるので、町が率先して推進するのは難しい。

**地域産物を活用した
加工施設が必要ではないか。**

質問 地域の産物を活かした加工施設の必要性についてどのように考えているのか。

答弁 産業課長
町の特産物を行かした製品の加工ができればと考えます。具体的な案があれば国や県の事業を利用していきたい。

防災対策について

質問 近年、大地震・集中豪雨などの天災が全国的におこり、30年以内に発生するといわれている東南海・南海地震が取り立たされるようになりました。

避難についても短期ではなく、長期にわたることも考えられますが、地震・津波・集中豪雨等による被災時の長期避難場所についてどのように計画しているのか。

答弁 参事（総務課長）
長期避難場所については、公共の遊休地・小中学校・社会体育施設のグラウンド等が考えられる。



遊休農地の活用＝地域活性化の源



公共用地（かえるの里）



榎本一平 議員

アスベスト問題に対する町の対応は

質問 6月から7月にかけて、アスベスト問題で深刻な健康被害が出ている実態が発表された。

早くからガンとの関係は知られており、対策が必要とされ、海外では80年代に使用禁止になったが、日本がアスベストを禁止したのは2004年で、ようやく使用禁止の国内法の整備を行った。当町はどこまで取り組みが進んでいるか。

答弁 Ⅱ 参事

設計書による確認と、ないときは目視確認を行い、該当施設はなかったが、一部の建築物で非飛散アスベストの心配があり、サンプリングで調べ、調査をしているが、飛散が危険なアスベストは確認されていない。



町内公共施設

少子化・子育て対策として乳幼児医療費助成の拡大を

質問 子育て世帯にとって子どもの医療費の負担軽減は、安心して子どもを育てる上でも切実な施策と考える。

県下では子どもの医療費助成の対象年齢を拡大している市町村は12あり、郡内では日高町が実施しており、10月からみなべ町も取り組む。

当町も子育て支援、少子化対策の一環として子どもの医療費助成の対象年齢を3歳から小学校就学前まで拡大するように求める。

答弁 Ⅱ 住民課長

県では対象年齢を拡大する方向で、来年度中に実施するよう、当町も動向を見ていく。

少子化対策の一環として進めていくべきものであると認識している。



給食調理室、校長室、職員室に

早急にクーラーの設置を

質問 夏の時期、各学校からは「学校施設に印南町だけクーラーがないので早く設置してほしい」という切実な声が上がっている。

私は昨年の9月議会で、「現在の給食調理室は適切な温度、湿度が保たれておらず、衛生面で問題がある」と指摘し、対策を求めたが変化がない。

また、ランチルームでも楽しいはずの給食が快適な環境の中で、食へられない、という深刻な状況がある。

とにかく、クーラー設置を求める声は切実である。町はこれからもなんの対策もとらないのか。

答弁 Ⅱ 町長

クーラーなどは金額にすればしれているが、教育委員会は全体の取り組みの中で整備を進めている。

再質問 印南町は給食調理室が適切な温度、湿度になっていない。



印南小学校ランチルーム

答弁 Ⅱ 教育長

校長と協議しながら重要性の必要性の高いものから整備をしていく。

印南町内には5つの公民館分館がありますが、それぞれの地域で特色ある活動を続けています。今回は、その1として、「印南分館」の活動等をご紹介します。



印南分館長
坂下 緋美

印南分館活動に携わって

現在、印南分館は、町の美化啓発、読書啓発、防災意識の啓発、スポーツを通しての交流、人権学習、食育学習、歴史学習等々をベースに活動しています。

一般に、各分野においての技術的、専門的な学習の場は、学校、各種教室と社会に数多くありますが、分館の役割はそれらでは補えない地域各層のコミュニケーションをより向上させることと考えています。

特に、核化したつある昨今の社会は、異世代のふれあいの場が当地においても減少しています。そんな事情を少しでも緩和し、地域の三世代が、分館の各活動を通じ、共に交流、活力を生み出せるようになれればと願っています。

多くの方々の支援が、分館活動の大きな力

現在、分館活動には2歳児から80代までの幅広い年代の方が参加してくれています。この活動に際し、各区長さんをはじめとする30名の運営委員の皆様が見守り支援してくれています。

特に印南分館でも大きな事業「冬の早朝マラソン」では約2週間、まだ暗く寒い早朝、委員の皆様全員が交代で、子ども達の安全をサポートして下さる姿に目を見張ります。

このような温かい見守りの背景こそ、分館活動の大きな力に思えます。

また、ここ数年、印南分館では、地域から「地震津波防災意識啓発の会」は、人命を考えるものであり、重要課題として取り上げてまいりました。先般、町長初登壇の場に初めて接し、「今、第一



公民館活動の一場面

に取り組むことは、南海地震津波対策」との挨拶にふれ、微々たる啓発運動に終わらせたくないと思っていた私どもにとりましては、時を得て大変力強く感じています。

印南分館活動に携わり、4年目、5分館の一つという限られた中での微々たる活動ではありませんが、先輩諸氏の築いてこられた継続事業も大事にしなごう、若い世代の池田主事共々、新しい事業の試みにも、少しずつ挑戦するべく精進したいと思っております。

議会広報特別委員会

年4回の定例会での議案審議や委員会活動報告など、少しでも議会活動をご理解いただける広報誌となるよう努力しております。

編集委員は次のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 榎本 一平 |
| 副委員長 | 畑中 豊 |
| 委員 | 藤本 良昭 |
| | 堀口 晴生 |
| | 西山 徹 |
| | 谷井 長平 |



あとがき

暑かった夏も過ぎ、秋空のもと、各地では秋祭りを終え、晩秋へと移り変わっていきま

す。

今期はじめての発行であります。今年5月にスタートし、第27号目を迎えました。

9月11日執行の衆議院議員選挙をみましても、国民の政治への関心が高まりつつある中で、皆さんに少しでも身近な、わかりやすい「議会だより」として、議会活動の様子をお届けできるよう、頑張りたく思いますので、ご意見等は事務局まで、よろしくお願いいたします。

(議会を傍聴し、町政に参加しましょう)